

事業所名

放課後等デイサービス ウィズ・ユー高座渋谷

支援プログラム

作成日

令和

7年

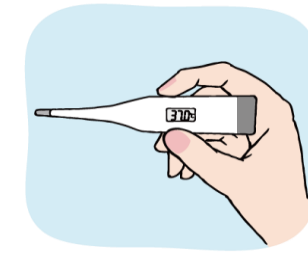
2月

28日

法人（事業所）理念		私たちは、子どもたち一人ひとりの未来の可能性を広げられるよう「知恵」を育むことを目指し、学習支援や体験活動を通して知識やスキルを身に付けると共に、思考力や判断力、創造性を養います。子どもたちから学び、気づきを得ながら、保護者様や関係機関と連携し、より良い支援を提供できるよう努め、安心して過ごせるよう施設環境やスタッフの専門性向上に努めます。お子様の成長を共に喜び、課題を解決し、温かいコミュニティとしての役割を果たします。						
支援方針		一、利用者様を第一と考え、常に快適で満足していただける空間を提供いたします。 二、利用者様を尊重し、社会的自立の形成を育めるようサービス提供いたします。☑ 三、利用者様の気持ちを癒し常に楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力いたします。						
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	別紙						
	運動・感覚	別紙						
	認知・行動	別紙						
	言語 コミュニケーション	別紙						
	人間関係 社会性	別紙						
家族支援		連絡アプリ、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。			移行支援		相談支援事業所や学校との情報交換で本人の状況把握を行い、子どもが地域で暮らす他の子どもと繋がりながら日常生活を送ることができるように支援を行う。	
地域支援・地域連携		地域の様々な場面で適切な支援を受けられるよう、学校やその他関係機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助をしていきます。			職員の質の向上		経験や職種に応じた研修の参加を促しスキルアップの機会をつくっていきます	
主な行事等		お誕生日会・初詣・節分・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等の季節行事 買い物学習、外食体験、遠足、クッキング						

①健康・生活

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
児童が日々の健康状態を受けることで、心身の健康の維持と向上を目指すこととする	健康状態をチェックすることで健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援していきます	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握（体温測定） 定期的な心身の把握（気分把握）
各児童に適した、身体的・精神的・社会適応できるスキルを向上させることで、社会での自立、健全かつ自発的な生活を営む能力を獲得することとする	日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どものに適した身体的、精神的、社会的訓練を行います	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ソーシャルスキルトレーニング 総合支援 クッキングの実施 外出レクリエーション 地震・火災・水害など避難訓練
基本的な身辺自立および個に応じた支援を行うことで、健全な発達と日常生活における自立を促進することとする	基本的な生活のリズムを身に付けられるようそれぞれの子どものに適した支援をしていきます	<ul style="list-style-type: none"> 着替えや身の回りの整理訓練 トイレトレーニング 手洗い・うがい・歯磨き ライフスキルトレーニング 総合支援 箸への移行
物の購入方法など実際の経験と知識を有し、将来自立した意志決定ができる能力を育成することとする	物を購入する流れを通して選択や購入方法についての経験と学びを提供します	<ul style="list-style-type: none"> 買い物（模擬店・実店）
自己管理や生活環境の維持、社会的規範などを理解し実践できる力を育成することとする	掃除の習慣化や技術の向上を図ると同時に、マナーを学ぶ機会を提供します	<ul style="list-style-type: none"> 掃除 整理整頓

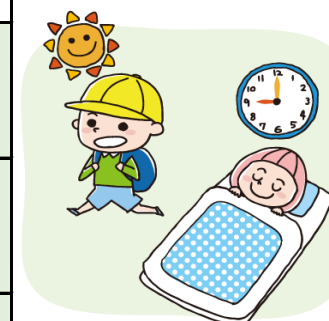


②運動・感覚

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>身体的機能を最適化し、全体的な発達と生活の質を向上させることとする</p>	<p>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図るとともに視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚遊び ・ダンス・ラジオ体操、軽い運動を実施 ・トランポリンの姿勢保持 ・サーキット運動 ・ストレッチの実施 ・自立課題 ・ボルダリングの運動能力向上
<p>音楽的な感受性を高め、社会的協調性や自己表現を向上させることとする</p>	<p>遊びや運動を通して音を聞くことによるリズム感や表現力・協調性を育む支援をしていきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かす遊び・運動
<p>心身のバランスを整え、心理的・生理的など全体的な安定性を促進することとする</p>	<p>音や温度・室内環境に配慮することで緊張状態を緩め感情コントロールや集中力を高め心身のバランスを整える支援をしていきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カバン・水筒を置く場所など、用途ごとにシールやラベルを貼り、目で見えて理解できるようにします。 ・個室にて個別対応
<p>発達特性やニーズに最適化された支援を実施し、効果的な問題解決と能力向上を図ることとする</p>	<p>ウィズ・ユ一独自のアルゴリズム傾向判断を行い課題に合った支援プログラムを提供します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインバランスケア アプローチ

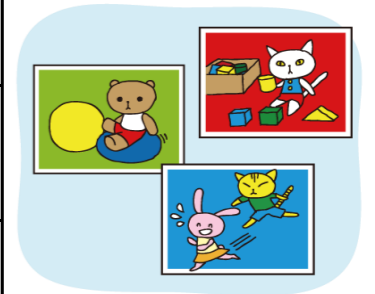


③ 認知・行動		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
変化に対する認識力を高め、適応力および問題解決能力を向上させることとする	日々の変化を確認する環境提供をして情報の取得、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援していきます	・ 天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
		・ 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成
		・ 自立移動訓練
認識したものの特性を精緻に識別し、概念的理解を深めるとともに、認知的処理能力の向上・複雑な知覚的課題への適応力を強化することとする	物の個数や形、重さや色、機能や属性の認知形成ができるように支援していきます	・ 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
		・ ブロック遊びによる空間把握の認知形成
		・ 組み立て教具による空間把握の認知形成
		・ ビジョントレーニング
		・ 工作による認知形成
自身の認知的特徴を理解し、様々な事象への認知・行動の適応力を促進することとする	認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成ができるように支援していきます	・ 感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
		・ 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
		・ 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動



④言語・コミュニケーション

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>自発的な表出やコミュニケーションスキルの発展を図ることとする</p>	<p>始まりの会や終わりの会等で具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援につなげます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出 ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出 ・小集団での障害の特性に応じた読み書き
<p>多様なコミュニケーション方法を獲得することにより、相互理解と表現力の発展を促進こととする</p>	<p>文字・記号、絵カード等のコミュニケーション手段を活用し、コミュニケーション能力の向上のための支援をしていきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールなどを絵や絵カードを使った視覚支援 ・絵カードを使った言語訓練（読み書き） ・視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示 ・視覚的に「何がどこにあるか」を絵などを使い具体的に表示



⑤人間関係・社会性

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>社会的相互作用の向上・協力や役割分担・規範などの社会的スキルの体系的育成を目指すこととする</p>	<p>周囲の人と安定した関係を形成するための支援や無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心基地
		<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント形成（感情に寄り添う・自尊心を高める・認める）
		<ul style="list-style-type: none"> ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
		<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担のある遊びなどでの環境把握
		<ul style="list-style-type: none"> ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどを通じた地域との交流
		<ul style="list-style-type: none"> ・外出レクリエーション
<p>児童の自己認識を深め、情動調整力を強化し、心理的な適応力を向上させることとする</p>	<p>学習や遊びを通して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援
		<ul style="list-style-type: none"> ・SST活動

